

「神の武具を身に着ける： 聖徒の交わり」

エペソ 6章10～20節

2014.8.24 Alex Tan

1

概観

エペソは獄中書簡として有名で、「キリストの主権」がメインテーマ。私たちが救われたのは神様のご計画であり、実生活で神様の御心を行なうことが生きる目的。霊的な戦いに勝利するために、イエス様と一つになり、教会が一致するように教えている。

アウトライン

1. What? 悪魔の策略について 10節～13節
2. How? 神様の武具で 14節～18節
3. Why? 福音のために 19節～20節
4. 適用: 聖徒の交わり

2

1. What? 悪魔の策略について 10節～13節

悪魔は霊的成長を妨げようとする。

ヨハネ10:10 盗む、殺す、滅ぼす

I ペテロ5:8 歩き回る獅子のよう

一人で立ち向かう戦いではない。そして、すでに勝利が約束されている戦い。

- ・V10: イエス様につながり、頼りなさい。
- ・V11: 悪魔の策略はイエス様から離すこと。
- ・V12: イエス様は霊的な戦いに完全勝利。
- ・V13: 神の武具を身に着けなさい。

3

2. How? 神様の武具で 14節～18節

戦いの武具	関連聖書箇所	霊的な武具
1. 帯 (v14)	エペソ 4:25	真理
2. 胸当て (v14)	エペソ 4:24	正義
3. 靴 (v15)	エペソ 2:14-18	平和の福音
4. 大盾 (v16)	エペソ 2:8-9	信仰
5. かぶと (v17)	エペソ 1:13	救い
6. 剣 (v17)	ヘブル 4:12	神のことば
7. 祈り (v18)	ローマ 8:26-27	御霊

⇒すべての武具は神様の恵みによって与えられている。自分から生み出すものではない。堅く立てるように身に着ける。

4

3. Why? 福音のために 19節～20節

・V19: 福音の奥義が語られるように。

・V20: 大使の役を果たすように。

福音の奥義

⇒神様の一方的な愛、人間は無力。

福音は2000年間、人の心を触れ、罪を気づかせ、救いを与えてきた。

福音のために生きることは、クリスチャンにとって最大の喜び。

5

4. 適用: 聖徒の交わり

- ・同じ価値観の信徒と交わることにより、生活が福音中心に正されてくる。「Fellowship」
- ・教会で礼拝を捧げることにより神様の主権を認め、神様に明け渡ししていく。「Worship」
- ・聖書は生活の規範で、御言葉を聞き、デボーションを続け、分かち合いをする。「Word」
- ・互いの信仰成長のために祈り、とりなしていき、祭司としての務めを果たす。「Work」
- ・御霊を通して、霊的戦いに勝利し、福音を大胆に語れるように未信者を導く。「Welcome」

6